

## VI 令和3年度からの重点的取組

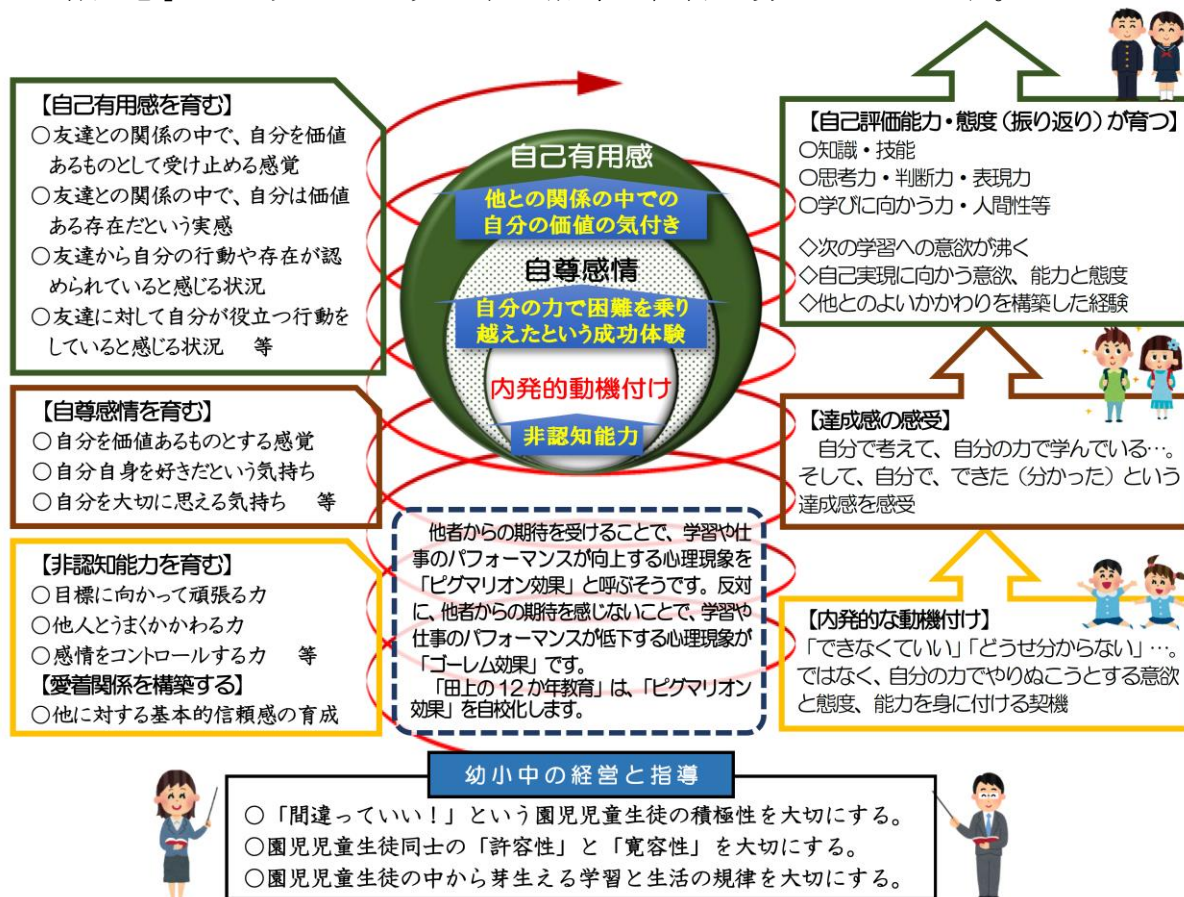
「考えをもち伝える」資質と能力を身に付けた田上っ子を  
 幼小中連携の縦軸と学校・地域との連携の横軸、ICT教育で育成する。

### 1 園児児童生徒の主体性を伸ばす

「入試に出題されるので暗記しなさい」といった学習への外発的動機付けだけでは、やがて子どもは学習から離れていきます。「トライ&エラーの繰り返しだけで、最後までやり抜きたい」「友達と力を合わせればできそうなので挑戦する」といった内発的な動機付けと「自分の力で壁を乗り越えたというその子の成功体験」は、「考えをもち伝える」ことに生きて働くはずです。

「自分はできる子だ」という自尊感情を覚えた子どもは、内発的動機付けで様々なことに挑戦していくことができるでしょう。そして、「自分は人の役に立っている」という自己有用感、その子の主体性を一層育んでいくにちがいありません。

田上の幼小中連携の要は、下図の子どもの「愛着関係」「非認知能力」「自尊感情」「自己有用感」を大切にされた幼小中の指導と経営に努めることです。

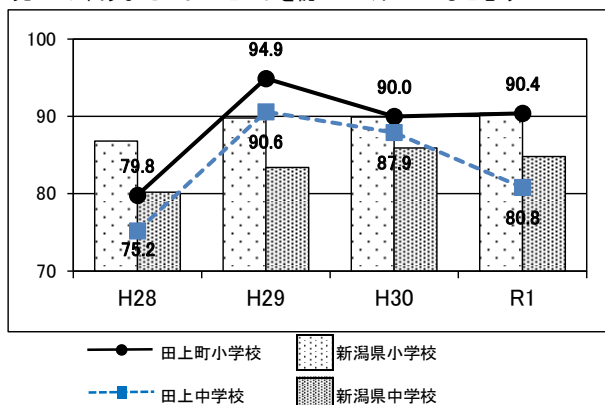


他者からの期待を受けることで、学習や仕事のパフォーマンスが向上する心理現象を「ピグマリオン効果」と呼ぶそうです。ピグマリオン効果と反対に、他者からの期待を感じないことで、学習や仕事のパフォーマンスが低下する心理現象が「ゴールム効果」です。

「田上の12か年教育」における園児児童生徒と教師や地域との関係は、「ピグマリオン効果」の立場に立っています。

## 2 田上っ子を「褒めて育てる」

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか

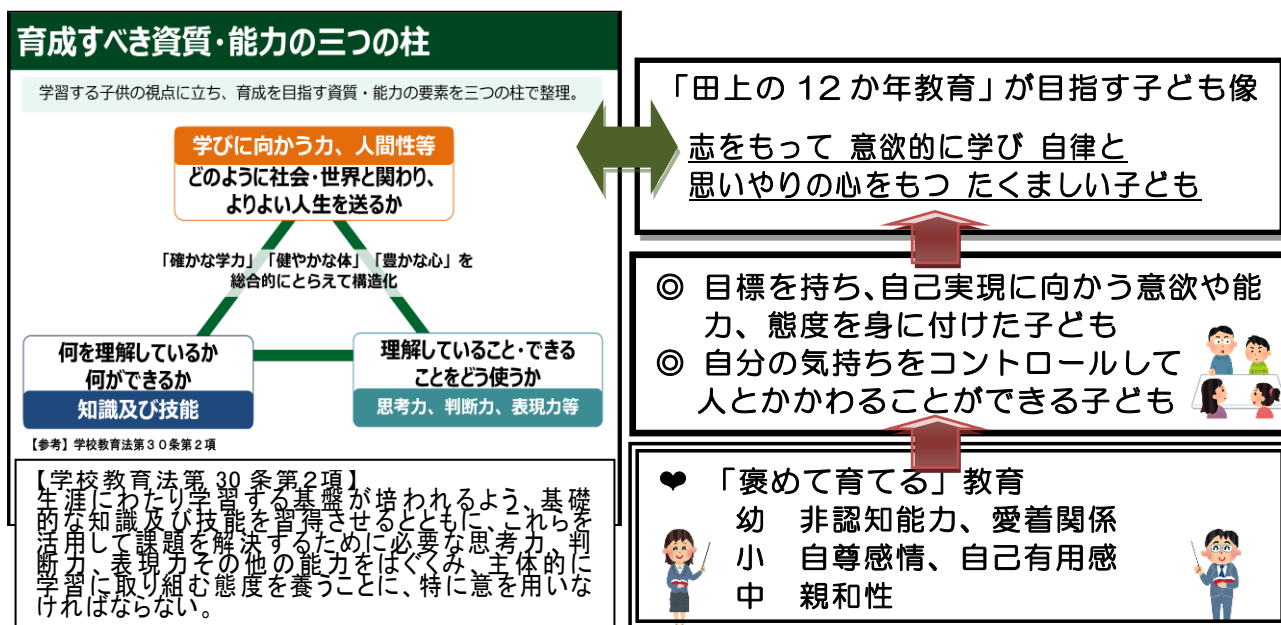


左グラフは、平成28年度から令和元年度までの全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙の「先生はあなたのよいところを認めてくれているか」の結果です。田上の園学校の教員は、ピグマリオン効果に基づいて「これができる」「やり遂げようと努力している」といったリスpekトの眼差しで子どもを理解し、指導にあたることに努めます。

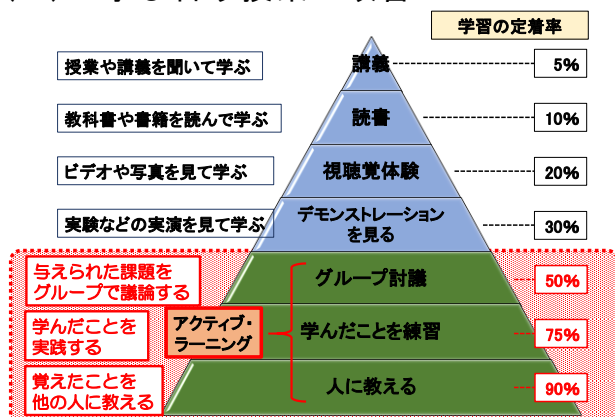
## 3 新学習指導要領につながる改善

### (1) 学習指導要領と「田上の12か年教育」

これからの教育は、「何を知っているか」という内容にとどまることなく、「何ができるようになるか」「理解していること・できることをどう使うか」にまで子どもが自分で発展させることが期待されています。田上の12か年教育で目指す子ども像は、「褒めて育てる」を大切にした経営と指導で、自己実現できる子、気持ちをコントロールしてよい人間関係を構築できる子に育つことを目指しています。

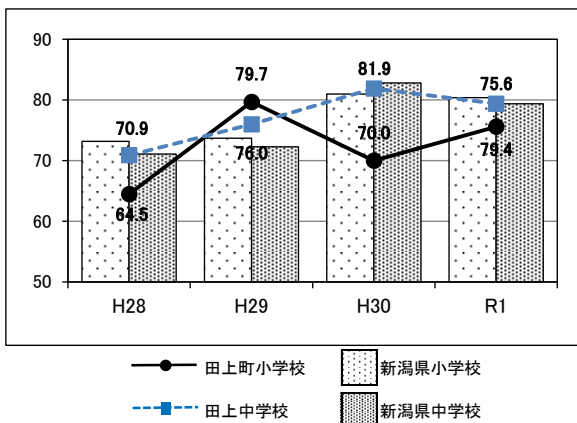


### (2) 学び合う授業に改善



左図は、学習モデルを分類した「ラーニング・ピラミッド」です。学びの形態によって、学習の定着率が大きく変化することを示唆しています。従来の「詰込み型授業」「教師主導の授業」から、グループで協議したり、学んだことを実践したり、覚えたことを友達に教えたりするアクティブ・ラーニングへと小中連携で改善していきます。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか



左グラフは、平成28年度から令和元年度までの全国・学力学習状況調査児童生徒質問紙「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできているか」の肯定的回答の割合です。「褒めて育てる指導」は、発言しようとする意欲と積極性を伸ばしたり、協働的に学び合う場は有益であると感じたりして、自分で自尊感情を伴う深い学びにしていくことが期待できます。

### (3) ICT活用による学びの改善

田上町の小中学校でのICT活用について、教職員向け校内研修用資料、保護者向け資料、地域向け資料を作成します。そして、令和4年8月中(予定)に、各学校や町教委のホームページに掲載する等で周知します。

## 【教職員向け校内研修用資料】田上町の教職員の皆様へ 田上町のICT教育の概要



### 《主な内容》

- I 学習指導要領と教育の情報化
  - II 児童生徒「生きる力」を育む
  - III 田上のICT教育
    - 1 田上の児童生徒の実際と課題
- 田上町では、児童生徒に「考えをもち伝える」への意欲、資質・能力を育むことにICTを活用します。
- 2 「田上の12か年教育」とICT教育(左図参照)
  - 3 授業改善とICT教育
  - 4 ICT・プログラミング教育の充実
  - 5 教育用タブレット端末の活用
    - (1) 学校での活用
    - (2) タブレット持ち帰り時の家庭学習例
- IV ICTの自校化
    - 1 ICT教育を位置付けた年間指導計画
    - 2 次年度に引き継ぐ実践例(田上町の例)
    - 3 OJTにICT教育を位置付ける
      - (1) 田上町のICT教育の取組
      - (2) ICT支援員の活用
      - (3) 県教員等育成指標とICT活用指導力
      - (4) ICT活用指導力チェックリストによる点検

【保護者向け資料】 ICT教育で田上の学校の授業が変わります の概要

【目次】

- 1 21世紀を生きる子どもたちに求められる力
- 2 「田上の12か年教育」とICT教育
- 3 ICTの活用で変わる児童生徒の学び
- 4 田上町のICT教育
  - (1) 田上町の児童生徒の実際と課題
  - (2) 田上町のICT教育の取組
  - (3) ICT支援員の活用
- 5 田上町の取組の概要(令和3年度)
  - (1) 活用資料を次年度の授業改善に活用
  - (2) 自校の指導計画に記録して次年度に活用
  - (3) 課題把握・考えをまとめる・伝え合う・共有するなどの場面で活用
- 6 新潟県SNS教育プログラム(小中学校編)等を活用した情報モラル指導
  - (1) インターネット上に写真を投稿する時に気を付けることの指導例
- 7 タブレット端末の持ち帰りと家庭学習の例と使用上のきまりの例
- 8 タブレット端末持ち帰り時の使用上のきまりの例

田上町立小中学校の保護者の皆様

ICT教育で田上の学校の授業が変わります

令和4年8月



田上町教育委員会

【地域向け資料】 生きる力 学びの、その先へ の抜粋

1人1台のタブレット端末を活用する新しい学びに取り組みます！

生きる力  
学びの、その先へ



田上町教育委員会は、町内の小中学校に在籍するすべての児童生徒に1人1台の教育用タブレット端末を配備して、令和3年度から活用できるようにしました。このタブレット端末を活用して、どのような授業に改善できるのか、どう一人一人の主體的な学びを支援できるのかなど、田上っ子の資質・能力をより効果的に育成できる教育ICT環境を検討し、実現していきます。

教育用タブレット端末を学校だけでなく自宅などでも活用できるようにすることで、家庭と学校との新たなつながり方を創り出していきます。



「児童生徒の学び」が変わります！

- 1 一人一人の学びを充実させます
- 2 対話的な学びを充実させます
- 3 探究的な学びを推進します



「学校の授業」が変わります！

- 1 授業の理解のしやすさを推進します
- 2 学習や生活への意欲を支援します

21世紀を生きる子どもたちに求められる力と「田上の12か年教育」

生きる力  
学びの、その先へ

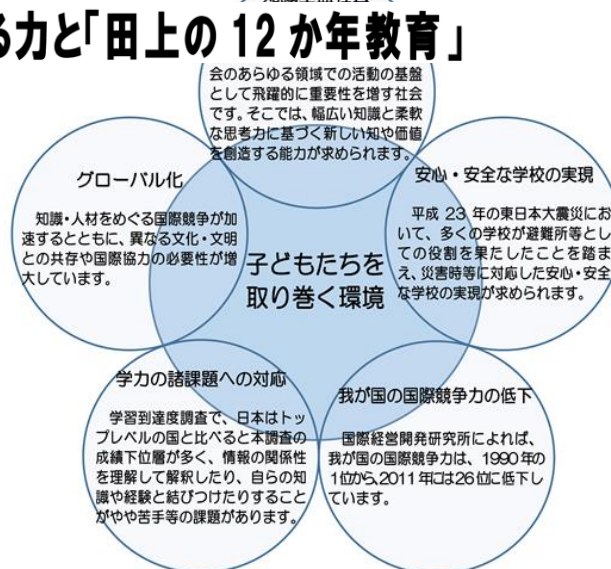


子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、21世紀を生きる子どもたちには、確かな学力、豊かな心、健やかな体といった「生きる力」を育むことが求められています。自分で考え自分で行動できること、他者と協力して助け合いながら「生きる力」を身に付けることが大切です。

一人一人の子どもたちの多様性を尊重しつつ、それぞれの強みを発揮させるその子に応じた教育を行うとともに、異なる背景や多様な能力をもつ子どもたちが協働して新たな価値を生み出す教育を推進します。



知識基盤社会



文部科学省資料より

## Ⅶ 展 望

### 三者の納得をつくる

「田上の子は田上で育てる」には、多くの方から関心をもっていただける学校にしていくことが肝要です。「学校の説明努力」、「地域と保護者の共感的理解と協力」という一層の関係性づくりで、「関心のない学校から気になる学校に変容する」ことを一層推進することが課題です。

地域学習を「ワンウェイ」から「ツーウェイ」に転換して、Win・Winの関係づくりを目指さなければなりません。

「田上の12か年教育」を幼児児童生徒も、教職員も、地域と保護者の方々からも、その取組に納得いただける特色ある田上の教育に改善していきたいものです。

### 田上の12か年教育の展望

- |            |    |  |
|------------|----|--|
| ○田上っ子の納得   | …… | 自分のよさと可能性を感じる！<br>自分は田上で成長している！                        |
| ○教職員の納得    | …… | 園小中学校間連携と地域との連携が、田上っ子の成長を支えている！<br>自分の指導と経営が成果をつくっている！ |
| ○地域・保護者の納得 | …  | 田上っ子は成長している！<br>「オール田上」で田上っ子を育てている！                    |